

## 【9月定例会】私の一般質問 市長・教育長答弁

### 1 太田川流域の洪水対策について

今から43年前、昭和49年7月の七夕豪雨を体験した人達にとっては、昨今の、各地に起こる「過去の経験を越えた雨量」による豪雨災害から、当時を思い起こして不安を感じておられることは十分理解できます。そこで、三ヶ野橋北側 岩井の堤防決壊箇所確認後、当時の状況を鮮明に記憶しているという方を訪ね、三ヶ野や明ヶ島の様子そして玉越・西島の様子をお聞きいたしました。その上で、下記の点について一般質問を行い当局の回答をいただきました。

**【質問1】** 太田川水系河川整備計画の整備方針、進展状況について、七夕豪雨時の決壊箇所を含む整備の状況を伺う。

**【答弁】** 七夕豪雨の決壊箇所付近は既に改修を行っており、現在は整備計画に基づき、流下能力の低い箇所の河川改修を進めている。また太田川ダムが洪水機能を備えており、下流域の水害軽減に大きな役割を果たしている。



**【質問2】** 県は本年7月に、雨量最大規模想定をもって、新たな洪水浸水想定を公表した。市として、このデータをもつての住民への周知や対応策は、今後どうなるのか伺う。

**【答弁】** 本年度末までには、仿僧川、今之浦川について想定区域を公表すると聞いている。本市ではそれらの公表後、避難場所など必要な事項を記載した洪水ハザードマップを作成し、市民に周知をしていくとともに、避難意識を高める為の啓発を実施していきたい。



七夕豪雨時、太田川河口より約8.0 km地点が決壊した

**【再質問1】** 岩井の決壊箇所から上流部は堤防が補強されたように中段(小段)が出来ているが、三ヶ野橋までの70~80mは、それがされていない、そこを補強する計画はあるのかどうか。

**【答弁】** 県事業であり詳細は把握していないが、当該箇所は改修済と聞いている。(後日、担当者より、最近では緩勾配の一枚りの方がよいとされ、小段は造らない方向と説明を受けた。)



**【再質問2】** 蟹田川が増水すると国道沿いの生活道路が冠水し、交通障害が起こる。年に2~3回起こっている。蟹田川の改修計画はどうなっているか。

**【答弁】** 現在彦島大橋から上流にある松橋川との合流地点の用地取得と堤防改修が行われている。

(※12/20太田川 明ヶ島 河床掘削ほか20,000千円が県補正予算に計上された。)

### 2 吉田町の“夏休み短縮”による教育改革に関して

(このたびの吉田町教育委員会の“夏休み短縮”報道には衝撃を受けた。)

**【質問1】** 教育委員会としての率直な感想・見解を伺う。

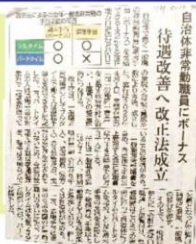
**【答弁】** 今、見解を述べる段階ではない。新学習要領の授業時間増に対する方策の一つと認識している。



### 3 地方公務員の非正規職員雇用の在り方・方向について

**【質問1】** 2020年4月よりの地方公務員法の改正を受け、非正規職員の今後の改善に向けてどのように準備、対応を検討するか伺う。

**【答弁】** 現行の非正規職員制度を大きく見直すものとなるため、国の説明会等に参加して、制度の適正かつ円滑な導入に向け準備を進めていく。



私の一般質問全文は、新着情報に掲載されておりますのでご確認ください。